

タイの教育支援NGO「マレットファン」メンバーから、被災した子どもへの支援についてうかがいました

熊 本地震直後の4月19日、タイで活動する教育支援NGO「マレットファン」のメンバーがクレヨンハウスを訪ねて来てくれました。2004年のスマトラ

沖地震による津波被害エリアで、子どもたちの居場所づくりのために図書館を設立してきた3人が、その後2013年にはじめたのが「マレットファン(=夢の種)」です。熊本地震の被災者についても、とても心配してくださいました。

をもらったんですよ」(ムアイさん)。

現在の活動では、子どもに関わる保育者などの大人の支援を中心とする3人。日本の絵本や保育を取り入れ、タイのスラムや山岳少数民族の保育の充実などを支援中です。寄付などの情報は<http://maletfan.org/jp/>で!

「報道の自由」がない日本?

国 連が、日本の「報道の自由」について政府に警告! 4月19日に「意見及び表現の自由」の調査を担当する国連特別報告者ディビッド・ケイさんが、日本政府に対しメディアの独立

「わたしたちの活動では、被災した子どもが、絵本やあそびを通してだんだんに希望を取り戻す姿にたくさん出会いました。スラムで育ったわたしも、日本の絵本から夢



『マレットファン夢のたねまき』
村中季衣/著
新日本出版/刊



「マレットファン」のメンバー。左からドゥルディ・ウンソントム(通称ムアイ)さん、アリッサ・ウッパシー(通称ギップ)さん、松尾久美さん。